



1_ 商工会議所プレハブ跡地にできた黒を基調とした建物が目印 2_ 自然光が差し込み、暖かな雰囲気が漂う店内 3_ 店のロゴマークが描かれたグラスに注がれる地ビール

上町チアーズオープン 桑折ならではの地ビール提供

クラフトビール醸造所を併設したパブ「上町CHEERS（チアーズ）」が8月8日、上町72番地の1にオープンしました。

町発祥のリングゴ「王林」をはじめとした、県北産の農産物などを使った桑折ならではのビールを提供。年間約2万5千リットの醸造料を見込みます。パブスペースでは、地元産の

野菜を使ったイタリアン料理がランチとディナーで楽しめます。

運営会社のTファクトリー（茨城県古河市）と町は、地域活性化を目的とした包括連携協定を締結。同施設内やホームページなどで、町の情報発信や町特産品のPR販売などを行い、町のにぎわい創出のために取り組んでいきます。

個人住民税知事表彰 本町の積極的取り組みが評価

県が実施する「個人住民税優良市町村知事表彰」において、桑折町の徴収率が現滞合計で97・36%と前年度より上回り、本町の収納率の向上と徴収努力が認められました。

これに伴い、8月5日、熊田孝県北地方振

興局長が役場を訪れ、高橋町長に感謝状が贈呈されました。平成29年度以来、3年ぶりの受賞となりました。

個人住民税とは、町が課税・徴収しているものであり、地方税収にとって重要な財源となっています。



熊田県北地方振興局長（左）から感謝状を受け取る高橋町長

全国山城サミット桑折大会 10月11日にプレ大会開催

昨年度、町内外から多くの歴史ファンが訪れた「桑折西山城復元祭」。来年度開催予定の「全国山城サミット桑折大会」に向けて、10月11日、ふれあい公園と桑折西山城跡を会場に、プレ大会を開催します。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底を図り、町民限定参加・事前申込制で実施します。申し込みについては、9月16日配布のチラシをご確認ください。イベント詳細は、19ページに掲載しています。

総合計画審議会 新しい総合計画の策定を目指す

まちづくりの指針で、最上位の行政計画である「新総合計画」の策定に向けた審議会が8月7日、イコーゼで開かれました。

当初は4月末の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響から開催できない状況に。今回、リモートによる参加や、検温・消毒などの予防対策を徹底しながら、1回目の

会議を開催しました。

会議では、会長に奥原英彦委員、副会長に佐藤久仁夫委員を選任。その後、各分野より選任した委員らと、これまでの取り組みの経過や将来のまちづくりについて意見交換を行いました。

町では、今後計画素案を作成し、委員から意見をいただきながら、来年9月の策定を目指していきます。



1_ 令和4年度から向こう10年間を見据えた新しい総合計画策定に着手 2_ リモートを活用した意見交換

死亡叙位叙勲伝達式 生前の功績を称えて



位記を手にする桂子さん（中央）と勲記を手にする雅人さん（右）

校長として功績を残した故人に授与される死亡叙位叙勲が、去る5月24日に逝去された島腹順一さんへ発令されました。

位記・勲記・勲章は、会田智康教育長から妻の桂子さんと長男の雅人さんに伝達。教育長が「先生が残された大

きな足跡に敬意と感謝を申し上げると共に、後進として一層努力していく」と述べると、桂子さんが「本人はもういないが、子々孫々に伝え喜びを分かち合いたい」と答えました。

また、醸芳小の図書教育の充実のため、町に図書購入費100万円を寄附されました。

オンライン役場見学ツアー 就職希望者に町の魅力を紹介

県内の町村自治体就職希望者を対象にしたオンライン役場見学ツアーが、8月20日から21日にかけて行われ、本町も参加しました。

本来はバスツアーを予定していましたが、

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン会議ツールを使って実施。パソコンの画面越しに、町の事業や役場の仕事内容について、約80人の参加者に伝えました。



チャット機能を使って、参加者からの質問に答えました